

2014年3月期 決算概要

テルモ株式会社
上席執行役員 経営企画室長

羽田野 彰士

2014年5月8日

決算ハイライト

全社

- 円安により増収、増益。業績予想には利益未達成
- 収益改善に向け足場固めに着手

心臓血管

- 米国TCVS社の品質システム改善は継続
- カテーテルは海外が二桁成長
- ニューロは継続した新製品で大きく拡大
- 提携なども活用し、パイプラインの仕込みを実施

ホスピタル

- 新製品の立ち上げ遅れ、海外工場生産性低下による収益悪化

血液

- 厳しい市場の中で安定した業績確保

円安により増収増益

(億円)

	12年度	13年度	増減率	為替除く
売上高	4,023	4,674	+16%	+4%
粗利益	2,057 (51.1%)	2,420 (51.8%)	+18%	+2%
一般管理費	1,254 (31.2%)	1,466 (31.4%)	+17%	
開発費	271 (6.7%)	301 (6.4%)	+11%	
営業利益	532 (13.2%)	653 (14.0%)	+23%	-1%
(のれん等償却除く)	668 (16.6%)	816 (17.5%)	+22%	-1%
経常利益	514 (12.8%)	638 (13.7%)	+24%	
(特別損益)	9	-109		
純利益	470 (11.7%)	341 (7.3%)	-27%	

期中平均レート $\frac{\text{USD } 83\text{円}}{\text{EUR } 107\text{円}} = \frac{100\text{円}}{134\text{円}}$

特別損益

(億円)

主な特別利益

受取和解金	60
-------	----

主な特別損失

減損損失	154	不採算部門の資産を減損
------	-----	-------------

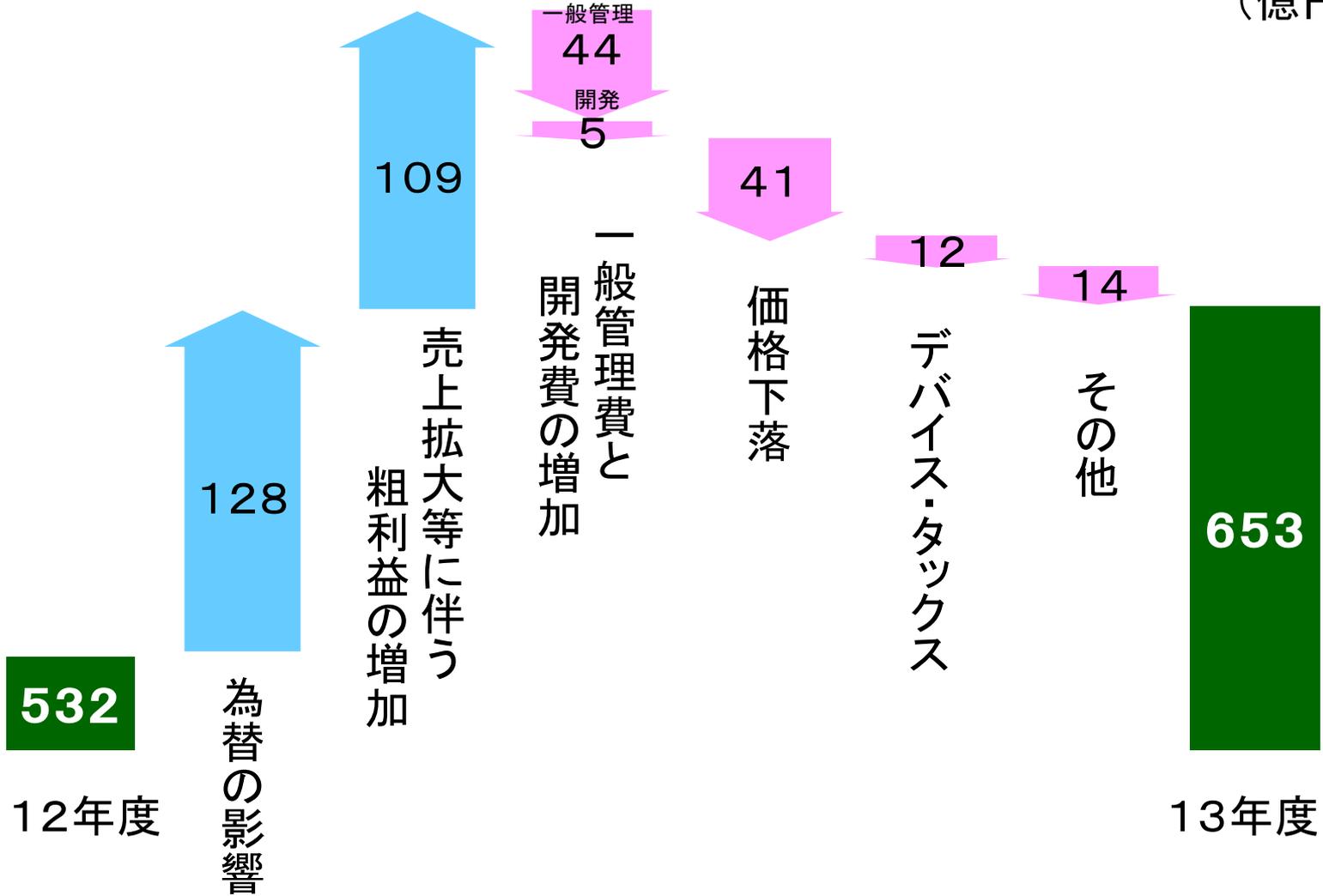
心臓血管	76
------	----

ホスピタル	35
-------	----

等

営業利益増減分析

(億円)

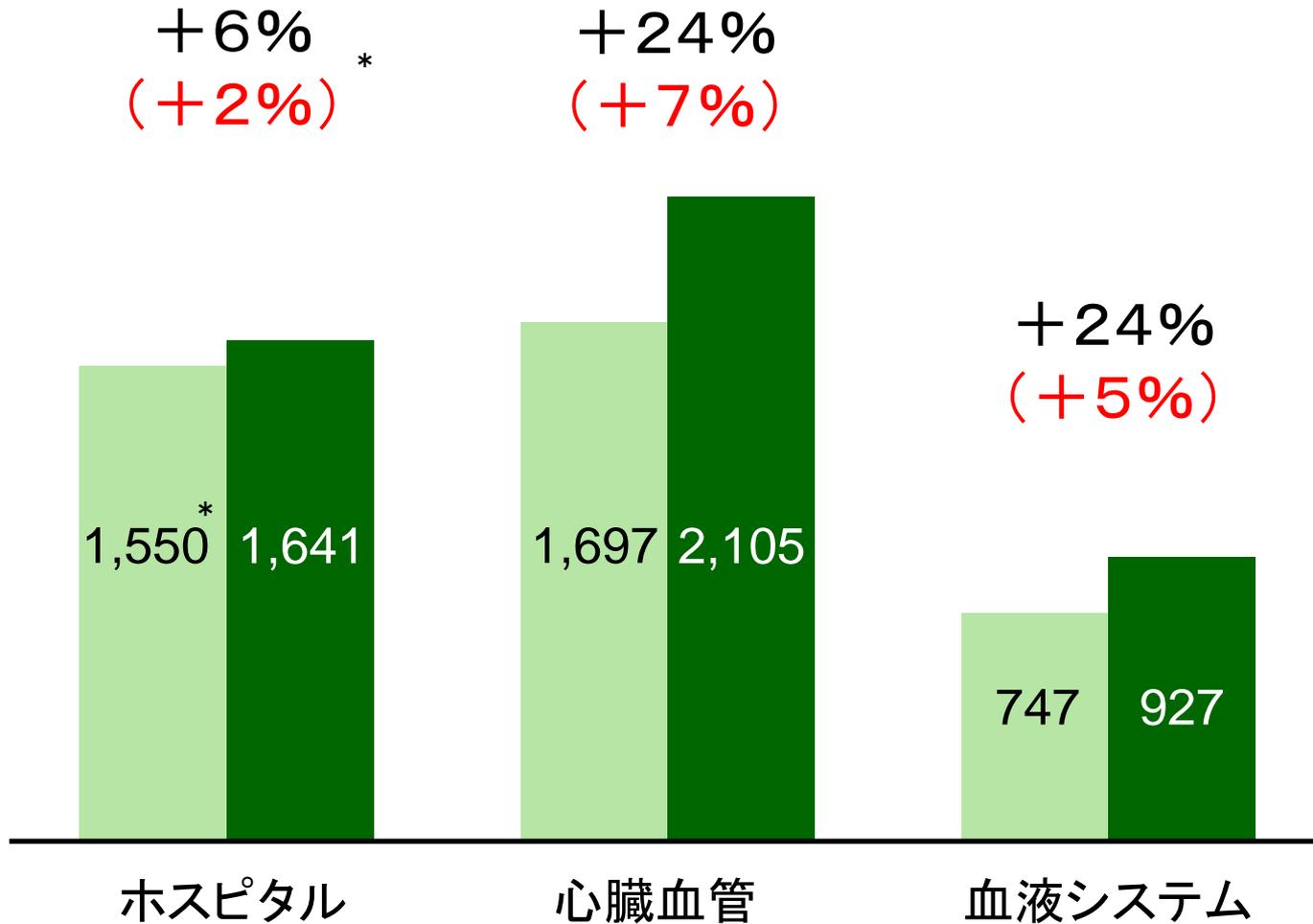


カンパニー別売上高

(億円)

12年度 13年度

()内は為替影響除く
* : 前年在宅事業除く



カンパニー別事業利益

(億円)

		12年度	13年度	増減率	為替除く
事業利益	ホスピタル	236 (15%)	208 (13%)	-12%	-16%
	心臓血管	291 (17%)	439 (21%)	+51%	+14%
	血液システム	138 (18%)	186 (20%)	+35%	+4%
その他※		2	-17	-	
営業利益 (のれん等償却除く)		668	816	+22%	-1%

※その他：カンパニーに直接関連しない項目

ホスピタルカンパニー：売上微増も収益は悪化

(億円)

	12年度	13年度	増減率	為替除く
売上高	1,550	1,641	+6%	+2%
事業利益 (率)	236 (15%)	208 (13%)	-12%	-16%

在宅輸液・酸素事業を除く

- 基盤医療器は新製品立上げ遅れによる収益悪化、
海外工場で生産性低下(▲16億)
- 医薬品は輸液関連製品の品種ミックスによる収益性が低下(▲10億)
- 国内でプレフィルドシリンジ二桁成長、血糖測定器・ナノパスが拡大

心臓血管カンパニー：増収増益を達成

(億円)

	12年度	13年度	増減率	為替除く
売上高	1,697	2,106	+24%	+7%
事業利益 (率)	291 (17%)	439 (21%)	+51%	+14%

- カテーテルはアクセス製品を中心に海外で二桁成長、
国内はペリフェラルステントMisagoが大きく貢献(+32億)
- ニューロでは新製品(ステント、バルーン)がグローバルで拡大(+5億)
- ベトナム生産移管によるコストダウンを順次拡大
- 戦略的提携を通じたパイプラインを拡充(ART、カネカ、FMD)

血液システムカンパニー：厳しい環境下で拡大

(億円)

	12年度	13年度	増減率	為替除く
売上高	747	927	+24%	+5%
事業利益 (率)	138 (18%)	186 (20%)	+35%	+4%

- 先進国では、欧州で血液自動製剤装置、
日米で治療アフェシスなど高付加価値製品を拡大
- アジア・中南米で二桁成長を実現
- インドで増産、ベトナムで工場準備

営業利益は業績予想に達せず

(億円)

	13年度 業績予想	13年度 実績
営業利益	700	653

期中平均レート

USD 100円
EUR 134円

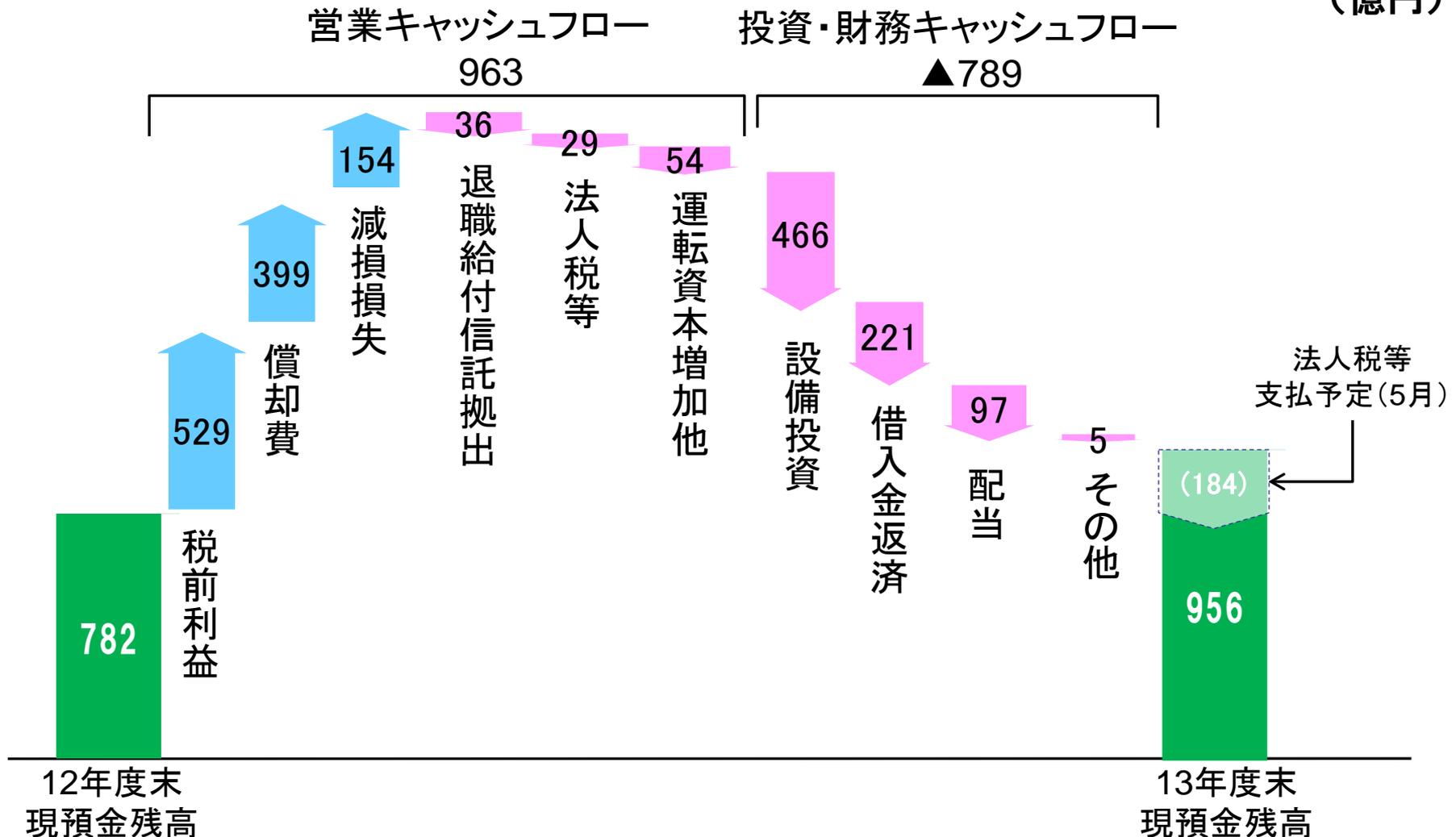
100円
134円

- ホスピタル：国内売上未達・新製品立ち上げ遅れによる収益悪化 ▲ 35億
- 心臓血管：米国TCVS社の品質システム対応に伴う影響 ▲ 30億
 - カテーテルは売上拡大と販管費抑制で利益を確保 + 8億
- 血液システム：売上確保と販管費抑制等で利益確保 + 10億

キャッシュフロー

成長投資・借入金返済・株主還元をバランス良く実施

(億円)



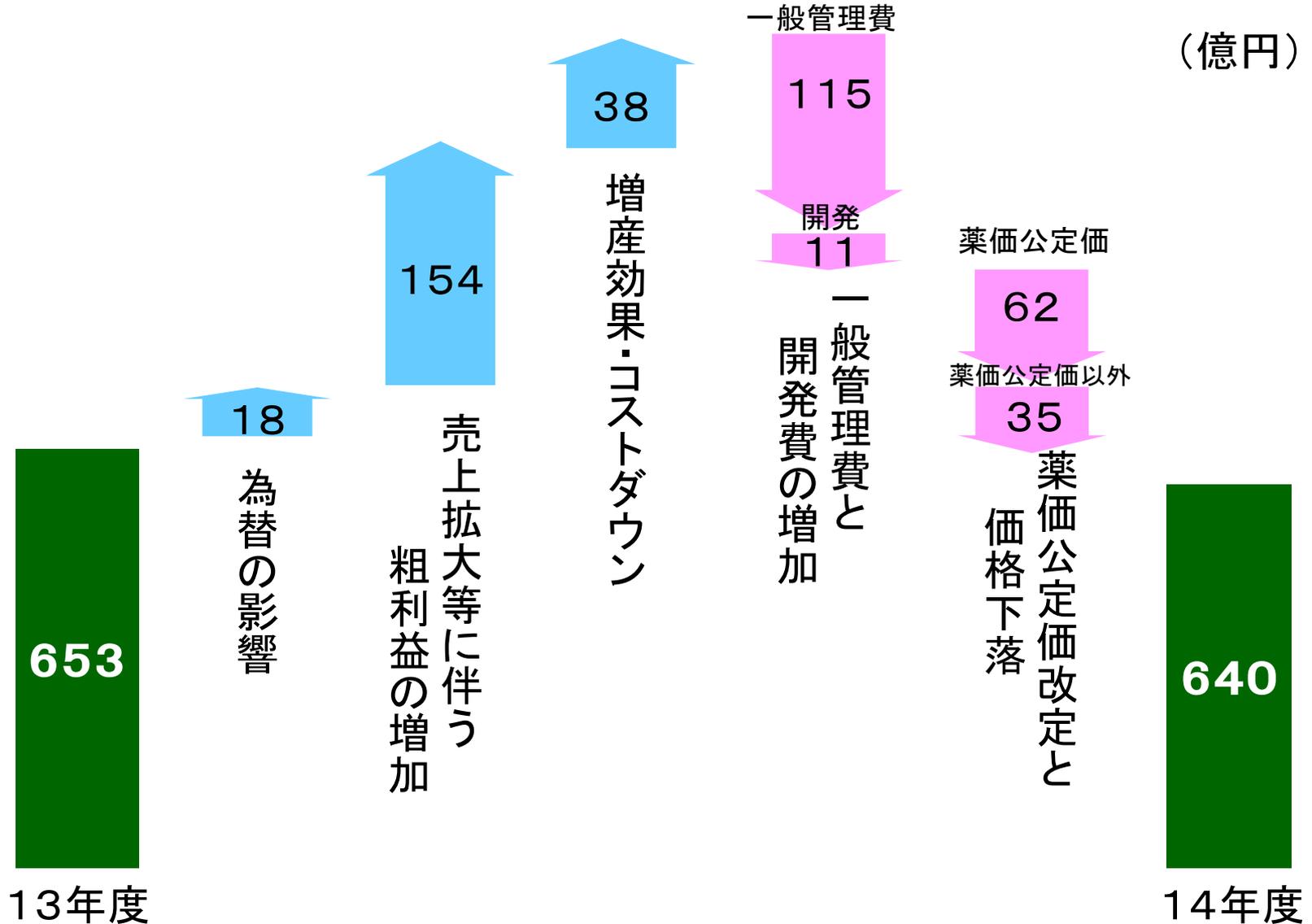
14年度業績予想

年間想定レート 米ドル 100円
ユーロ 140円 (億円)

	14年度 予想	対前年 増減率
売上高	4,880	+4%
営業利益	640 (13%)	-2%
経常利益	620	-1%
純利益	375	+10%

営業利益増減分析

(億円)



13年度

14年度

参考資料

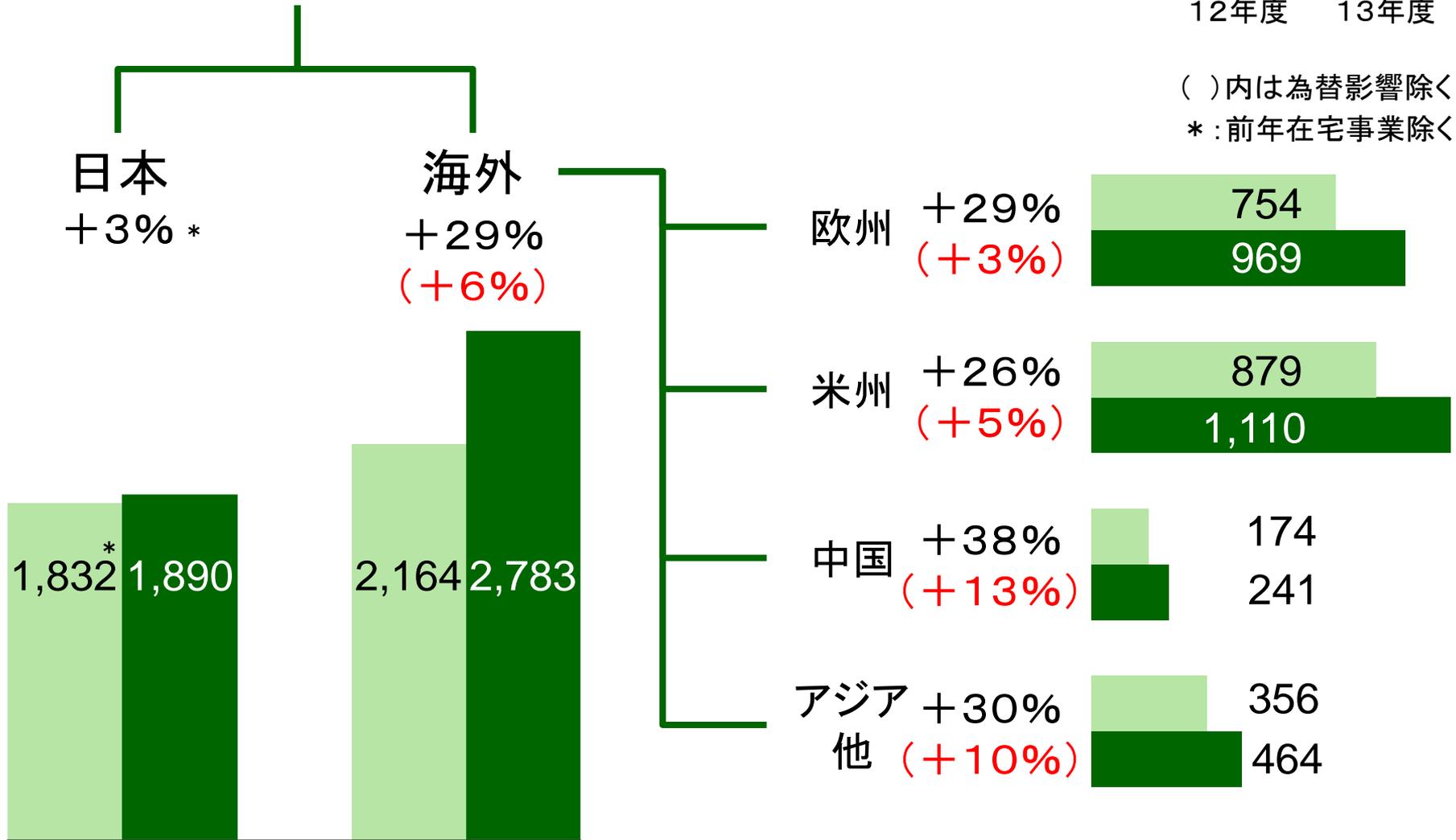
売上高 地域別

連結: +17% (+5%)*

(億円)

12年度 13年度

()内は為替影響除く
*: 前年在宅事業除く



販管費

(億円)

	12年度*	13年度	増減	増減率
一般管理費計	1,422	1,466	+44	+3%
研究開発費	296	301	+5	+2%
販管費合計	1,718	1,767	+49	+3%

* 為替の影響を除いた換算値

- 米州(カテ・ニューロ)の販売力の強化
- ニューロ新製品、血液システム(治療アフエレシス・血液自動製剤システム)へ開発費を投下

販管費

(億円)

	12年度	13年度	増減	増減率
人件費	532	638	+106	+20%
販促費	125	142	+17	+14%
物流費	102	105	+3	+4%
償却費	183	227	+44	+25%
その他	312	354	+42	+13%
一般管理費計	1,254 (31.2%)	1,466 (31.4%)	+212	+17%
研究開発費	271 (6.7%)	301 (6.4%)	+30	+11%
販管費合計	1,525 (37.9%)	1,767 (37.8%)	+242	+16%

()内は対売上高%

売上高と伸長率（累計）

（億円）

事業 セグメント	日本	海外 計					合計
			欧州	米州	中国	アジア	
ホスピタル	1,258 (1%)	383 (3%)	123 (-3%)	88 (-5%)	13 (-1%)	159 (12%)	1,641 (2%)
心臓血管	495 (7%)	1,611 (7%)	590 (4%)	654 (8%)	190 (15%)	177 (5%)	2,106 (7%)
うちカテーテル	382 (9%)	1,206 (10%)	465 (8%)	423 (12%)	180 (15%)	137 (8%)	1,587 (10%)
血液 システム	138 (7%)	790 (5%)	256 (3%)	368 (3%)	37 (9%)	128 (16%)	927 (5%)
合計	1,890 (2%)	2,783 (6%)	969 (3%)	1,110 (5%)	241 (13%)	464 (10%)	4,674 (4%)

下段（ ）内は為替影響除く対前年同期伸長率及び前年在宅事業を除く

事業別 地域別売上高と伸長率 (Q4のみ)

(億円)

事業 セグメント	日本	海外 計	地域別				合計
			欧州	米州	中国	アジア	
ホスピタル	301 (6%)	100 (-1%)	37 (2%)	22 (-16%)	4 (35%)	38 (4%)	402 (4%)
心臓血管	127 (10%)	439 (8%)	159 (1%)	177 (9%)	53 (19%)	51 (21%)	567 (8%)
うちカテーテル	97 (10%)	334 (12%)	126 (3%)	119 (15%)	51 (20%)	38 (22%)	431 (11%)
血液 システム	41 (21%)	212 (6%)	71 (4%)	91 (-0%)	11 (17%)	39 (27%)	253 (9%)
合計	469 (7%)	752 (6%)	267 (2%)	290 (4%)	68 (19%)	127 (17%)	1,221 (7%)

下段()内は為替影響除く対前年同期伸長率及び前年在宅事業を除く

粗利益率、販管費率、営業利益率

(%)



粗利益率



販管費率



営業利益率

Q4 12年度 Q1 13年度 Q2 13年度 Q3 13年度 Q4 13年度

(為替の影響を除く、各四半期の3ヶ月単位)

四半期の動き

(億円)

	FY12Q4 (1-3月)	FY13Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上高	1,065	1,111	1,149	1,192	1,221
粗利益	522 (49.0%)	570 (51.3%)	601 (52.3%)	615 (51.6%)	633 (51.9%)
販管費	416 (39.1%)	437 (39.3%)	430 (37.4%)	437 (36.7%)	463 (37.9%)
営業利益	106 (9.9%)	133 (12.0%)	171 (14.9%)	178 (14.9%)	170 (14.0%)

期中平均	US\$	92円	99円	99円	100円	103円
レート	EUR	122円	129円	131円	137円	141円

粗利益率、販管費率、営業利益率

(%)

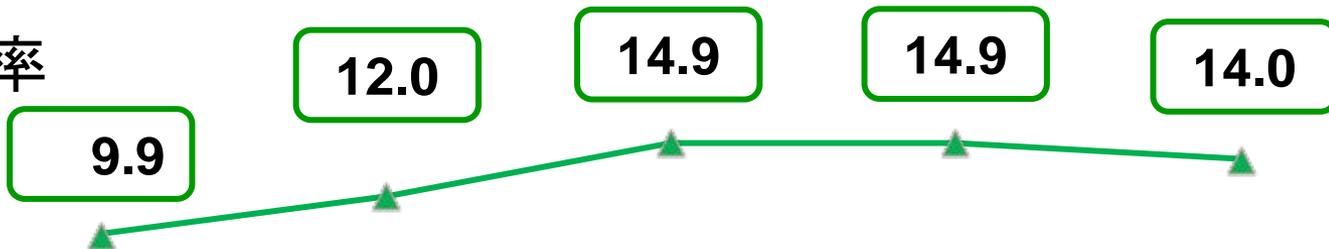
粗利益率



販管費率



営業利益率



Q4
12年度

Q1
13年度

Q2

Q3

Q4

(各四半期の3ヶ月単位)

設備投資と研究開発費

(億円)

	13年度 見通し	13年度 実績	14年度 見通し	前年比 増減
設備投資	500	466 (93%)	420	-46
償却費	370	399 (108%)	410	+11
研究開発費	300	301 (100%)	310	+9

%: 対年間見通し割合

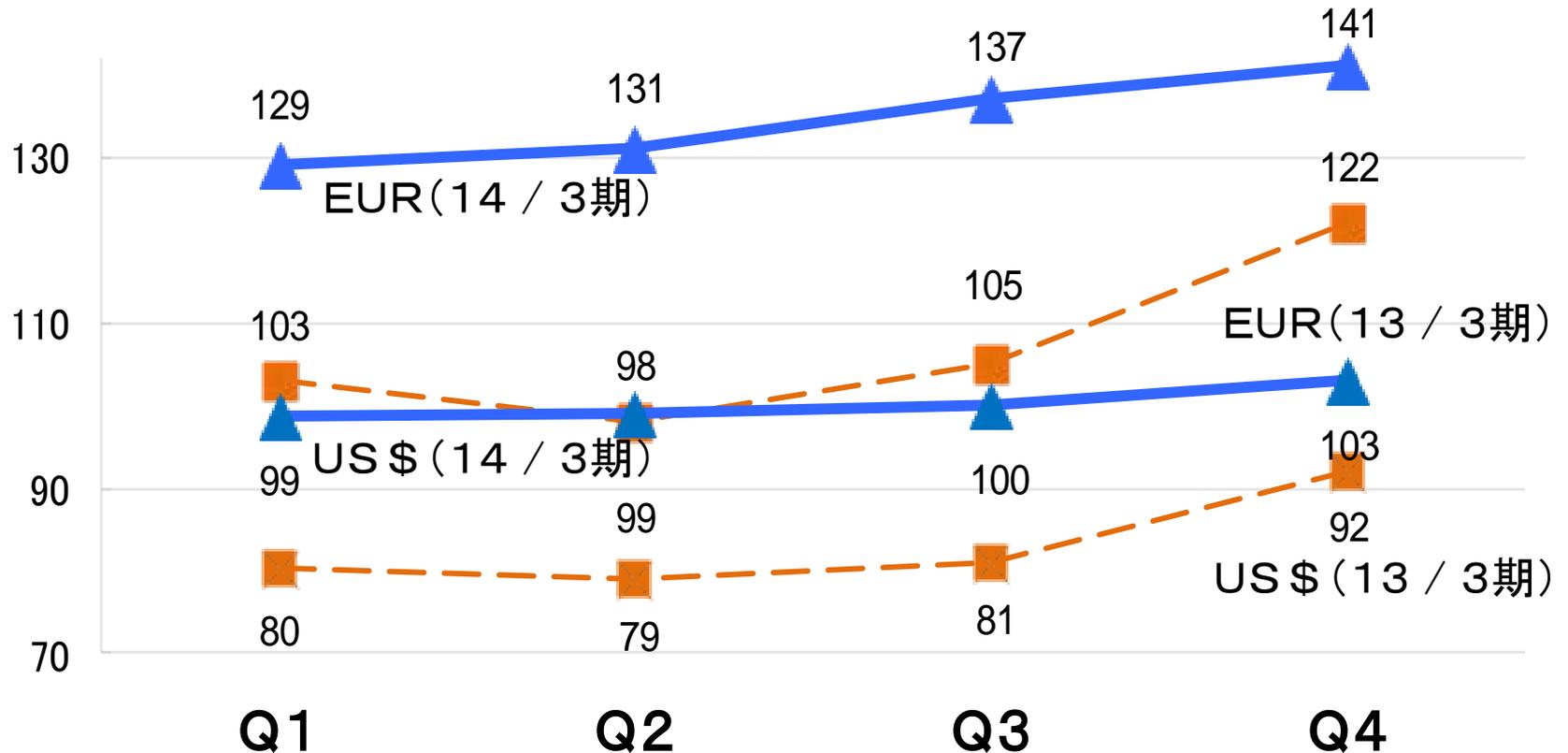
のれん・無形資産含む、設備投資は取得ベース

為替感応度

(億円／年)

	ドル	ユーロ
売上高	18	7
営業利益	3	4

四半期平均為替レートの推移



(各四半期ごとの期中平均レート)

13年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域
ペリフェラル	ステント(膝上)	日
	バルーン(膝下)	欧 FY14
	ステント(膝下)	欧 FY14
脳	コイルアシスト・ステント	中
	血流改変ステント	欧
	オクリュージョン・バルーン	日
心臓	新PTCAバルーン	日
	OFDI	日
	TRI用細物シース	米
アブレーション	腎除神経カテーテル	欧
	TRI腎除神経カテーテル	欧

領域	製品	地域
血液システム	自動血液製剤(PRP法)	欧
	自動血液製剤(BC法)	欧
	成分採血装置(血漿)	日 FY14
	統合データ管理システム(TACSI対応)	欧
	細胞治療用装置(骨髄幹細胞対応)	日
輸液システム	閉鎖式輸液ライン	日
	安全機構付き 静脈留置針	米・亜
	高機能輸液・ シリンジポンプ	欧

14年度パイプライン製品

領域	製品	地域
ペリフェラル	バルーン(膝上)	米
	バルーン(膝下)	日米
脳	コイルアシスト・ステント	米
心臓	新DES(自社開発)	欧
	新PTCAバルーン	欧
アブレーション	腎除神経カテーテル	亜・南米
	TRI腎除神経カテーテル	亜・南米

領域	製品	地域
血液システム	自動血液製剤(PRP法)	日
	細胞治療用装置 (顆粒球・骨髄幹細胞)	米
輸液システム	閉鎖式輸液ライン	亜
	高機能輸液・ シリンジポンプ	中

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。